

# 建築・住宅～大河原土木かわら版～

発行 宮城県大河原土木事務所建築班  
 〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町南129-1  
 電話 0224-53-3918 FAX 0224-53-8090  
 E-mail okdbkkt@pref.miyagi.jp URL http://www.pref.miyagi.jp/ok-doboku/

《Contents》

- 災害復興住宅融資について
- 木造住宅(準耐火建築物)における国土交通大臣認定の不適合施工と対応について

## ○ 災害復興住宅融資について

住宅金融支援機構では、災害からの早期復興の支援のため災害復興住宅融資の受付を行っています。

### ■融資金利【平成24年8月17日現在】

#### ◆建設・購入の場合

	当初5年間	6年目～10年目	11年目以降
基本融資額	年 0.00%	年 0.85%	年 1.38%
特例加算額		年 2.28%	

#### ◆補修の場合

当初5年間	6年目以降
年 1.00%	年 1.38%

※次回金利改定は、9月20日の予定。

### ■融資限度額

#### ◆建設の場合（土地を取得して住宅を建設する場合）

基本融資額（建設資金）1,460万円＋基本融資額（土地取得資金）970万円＋特例加算額450万円

#### ◆補修の場合

640万円（引方移転を伴う場合は＋390万円）

※各所要額（建設費・補修費等）が上記金額より低い場合は、その金額が限度となります（10万円以上10万円単位）。

### ■利用条件等

各市町村等が発行した「り災証明書」の提出等の条件があります。

### ■融資金利【平成24年8月17日現在】でシミュレーションしてみると…

#### ◆建設の場合で2,880万円借り入れて35年間で返済する場合

##### ○災害復興住宅融資の場合

災害復興住宅融資	当初5年間	6年目～10年目	11年目以降
毎月の返済額	73,418円	81,128円	85,415円
総返済額	34,897,441円（内 利息分6,097,441円）		

○住宅金融支援機構フラット35の場合（借入金利1.89%（七十七銀行等）の場合）の概算で比較すると…

フラット35	全期間
毎月の返済額	9.4万円
総返済額	3,939万円（内 利息分1,059万円）

（注）上記シミュレーションは、あくまでも住宅金融支援機構のホームページ上でのシミュレーションによるもので、実際のローン計画は各金融機関で御相談下さい。

### ■お問い合わせ・申込関係書類の請求先

住宅金融支援機構 お客様コールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353

（受付時間： 9：00～17：00）

■災害復興住宅融資の申込状況【平成24年7月31日現在】（大河原土木事務所管内）

市町村	被災状況		申込状況				総計
	全壊(戸)	半壊(戸)	建設等	購入	中古	補修等	
白石市	39	555	20	0	0	3	23
角田市	13	158	13	0	0	1	14
蔵王町	16	142	5	0	1	2	8
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	10	142	16	0	0	1	17
村田町	9	114	6	0	0	2	8
柴田町	13	188	13	1	2	2	18
川崎町	0	14	3	0	2	0	5
丸森町	1	36	1	0	0	0	1

○ 木造住宅(準耐火建築物)における国土交通大臣認定の不適合施工と対応について

■ 概要

下記の各社が施工中の木造住宅(準耐火建築物※1)において、国土交通大臣認定の仕様と異なる仕様で施工され、建築基準法違反の疑いがあることが判明しました。

■ 内容

木造住宅(準耐火建築物※1)の壁等における国土交通大臣認定の不適合施工の内容は、各社ごとに以下のとおり。

○三井ホーム(株) (平成24年9月4日国土交通省発表) 計2,942件

工 法	部 分	認定番号・認定取得者	不適合施工の内容	対象物件数
枠組壁工法※2	間仕切壁(45分準耐火構造)	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	・ねじの種類の不適合	2,874件
	間仕切壁(1時間準耐火構造)	QF060BP-9072 (社)石膏ボード工業会	・ねじの種類の不適合	68件

○東日本ハウス(株) (平成24年8月24日国土交通省発表) 計228件

工 法	部 分	認定番号・認定取得者	不適合施工の内容	対象物件数
軸組工法※3	間仕切壁(45分準耐火構造)	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	・胴縁の未施工 ・ねじの種類の不適合 ・間柱の間隔違い ・ねじの留め間隔の違い	228件

○住友林業(株) (平成24年8月24日国土交通省発表) 計1,437件

工 法	部 分	認定番号・認定取得者	不適合施工の内容	対象物件数
枠組壁工法※2	間仕切壁(45分準耐火構造)	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	・ねじの種類の不適合	1,175件
	間仕切壁(45分準耐火構造)	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	・ねじの種類の不適合	167件
	外壁(45分準耐火構造)の屋内側	QF045BE-0123 旭化成建材(株)	・ねじの種類の不適合	
	間仕切壁(1時間準耐火構造)	QF060BP-9072 (社)石膏ボード工業会	・ねじの種類の不適合	89件
軸組工法※3	外壁(1時間準耐火構造)の屋内側	QF060BE-9225 (NPO)住宅外装エカセカ	・ねじの種類の不適合	
	間仕切壁(1時間準耐火構造)	QF060BP-9072 (社)石膏ボード工業会	・胴縁の未施工 ・ねじの種類の不適合	6件

○住友林業(株) (平成24年8月10日国土交通省発表) 計3,525件

工 法	部 分	認定番号・認定取得者	不適合施工の内容	対象物件数
	間仕切壁(45分準耐火構造)	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	・胴縁の未施工 ・ねじの種類の不適合	3,525件

○(株)アキュラホーム（平成24年6月5日国土交通省発表） 計384件

工 法	部 分	認定番号・認定取得者	不適合施工の内容	対象物件数
	間仕切壁（45分準耐火構造）	QF045BP-9071 (社)石膏ボード工業会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胴縁の未施工</li> <li>・ねじの種類の不適合</li> <li>・間柱の間隔違い</li> <li>・石膏ボードに隙間</li> </ul>	384件
	床の準耐火構造告示関係（平成12年建設省告示第1358号）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・床の直下の天井と壁の取合い等の部分の裏面に当て木が未施工</li> </ul>	
	軒裏の準耐火構造大臣認定	QF045RS-0059 日本化学産業(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気隙間が大きい</li> </ul>	

※1：準耐火建築物とは、主要構造部が準耐火構造またはそれと同等の準耐火性能を有するもので、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に防火設備を有する建築物のこと。

※2：枠組壁工法とは、いわゆるツーバイフォー工法のこと、壁全体で支える構造工法のこと。

※3：軸組工法とは、いわゆる在来工法のこと、主として柱、梁を組み合わせて構成する構造工法のこと。

■ 今後の対応

- ・国土交通省は各社に対して、相談窓口を設置し、適切に対応するように指示しました。また、他に建築基準法違反がないか徹底した調査を指示するとともに、再発防止策の提出を求めていくこととしています。
- ・公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター（愛称：住まいるダイヤル）に次の消費者への相談窓口を設置して、相談に対応します。  
【窓口】電話番号：0570-016-100（PHS や一部のIP 電話の場合は、03-3556-5147）  
相談時間：10 時～17 時（土日祝日を除く）
- ・また、国土交通省では、建築士について違反行為が確認された場合は、関係行政庁と連携し、処分に向けた必要な手続きを進めていくこととしています。

■ 詳細の御案内

- ・上記の記事に関する詳しい情報は、国土交通省ホームページを御覧ください（施工の様子等が図解で掲載されています。）。 URL⇒ <http://www.mlit.go.jp/report/press/>

編集後記

9月まで続いた猛暑の夏も漸く終わりが見えてきたようで、吹く風にもどことなく秋の気配を感じる今日この頃です。

しかし、季節は移り巡っても変わらないものもあります。あのときからもう既に一年半が経ちましたが、震災の爪痕はまだ癒えることなくみやぎの大地に刻み込まれています。

「千年に一度の災害」を目の当たりにして、自然の猛威の凄まじさを改めて感じたものですが、その「自然」に対して土木・建築等の分野の真価が今ほど問われるときはないでしょう。

私たち建築技術者も、狭義の建築分野から住宅・都市計画・地域計画の分野に至るまで、今こそ叡智を結集して復興に貢献する機会であると言えます。

当かわら版でも、復興の主力たる建築技術者の皆様の一助となるべく、これからもできるだけ有用な情報の提供に努めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。（片）

～ お知らせ ～

大河原土木事務所建築班のホームページを御覧ください。

かわら版のバックナンバーや各種情報を掲載しています。

大河原土木 建築班

検 索 